宇都宮市立東小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学校に行くのは楽しいとおもいますか」では、肯定割合が93.8%で、全国平均を9ポイント上回っている。学級全体の雰囲気や友達との信頼関係が良好であることがうかがえる。

○「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定割合が81.3%で全国平均を14.2ポイント上回っている。学校全体の雰囲気や教職員と児童との信頼関係も良好であることがうかがえる。今後も全職員で児童を見守っていく意識を高くもち、さらに信頼関係を築いていく。

○「算数の勉強は好きですか」では、肯定割合が68.7%で、全国平均を7.4ポイント上回っている。また、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の肯定割合が81.3%で、全国平均を3.4ポイント上回っている。学習したことが生活で活用できると実感できることが学習意欲に繋がっていると考えられる。今後も算数と生活との結びつきを感じられるよう、学習の導入などを工夫していく。

○「外国語の勉強は好きですか」では、肯定割合が87.6%で全国平均を18.3ポイント上回り、「英語の勉強は大切だと思いますか」「英語の授業の内容はよくわかりますか」の設問の肯定割合は100%であった。引き続き、大切だと感じながら意欲をもって学習に取り組めるようALTと協力しながら授業を行っていく。

●「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」では、肯定割合が84.4%で全国平均を12.3ポイント下回っている。道徳や社会に学習を通して人権や差別の問題について学習することももちろん、互いを認め合える学級づくりや心の通じ合うコミュニケーション能力の育成に力を入れ、集団の一員としての自覚や自信をもてるよう支援していく。

●「自分には良いところがあると思いますか」では肯定割合が81.3%で全国平均を2.8ポイント下回っており、「将来の夢や目標を持っていますか」では、肯定割合が71.9%で全国平均を10.5ポイント下回っている。自分の良いところを認め、伸ばしながらいろいろなことにチャレンジさせ成功体験を積みませるとともにキャリア教育を通して自分の夢や目標を少しでも持つような指導を行っていく。

●「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」では、肯定的回答は71.9%で全国平均81.9%から10ポイント下回っている。ペアトークやグルーptークを日常的に行うことで、自分の意見を口にするのを習慣化したり、ICT機器のアプリを活用し、クラス全員の考えをスピーディに共有したりするなど、考えをまとめ、深い学びにつながる授業を行っていく。

宇都宮市立東小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
①主体的に取り組む、共に学び、楽しく分かる授業づくり ②対話的で深い学びを通して思考・判断・表現力を伸ばす指導の工夫 ③基本的学習態度と基礎・基本の確実な定着	①ICT(一人一台端末)の活用や児童の問いを生かす工夫 ②児童の発言を広げ、つなげるなど協働的な学びのある授業の工夫 ③学業指導の充実とAI型学習ドリルの有効活用	「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の設問において肯定割合が84.4%で全国平均を4.8ポイント上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」では、肯定的回答は71.9%で全国平均81.9%から10ポイント下回っており課題が見られた。	・協働的な学びの場の設定の際、ICT機器の活用を意図的に仕組んでいく。	・協働的な学びを推進する際、ペアトークやグループでの話し合いだけでなく、ICT機器のアプリを活用し、クラス全員の考えをスピーディに共有し、深い学びにつながるようにしていく。